

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	岩美町立岩美西小学校
授業者	小林祐介

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

海の子学習「岩美の宝を守るために」

#### 1-2. 学年

4年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間・国語

#### 1-4. 単元の概要

- ・岩美の宝について考えたり、調べたりする。
- ・大谷海岸の「今」について知る。  
磯の観察会を行い、岩美の山陰海岸ジオパークの景観や生き物の魅力にふれる。
- ・岩美の海に生息する生き物やごみの様子についての写真を見て話合う。
- ・課題を共有し、解決策を考える。
- ・自分たちにできることはないか考える。（海岸清掃など）
- ・大谷海岸清掃で集めたごみを分別し、自分たちができることについて考える。  
→集めたごみの記録を残しておき、2学期の活動につなげる。
- ・きれいにした大谷海岸の魅力を経験する。（磯の観察、魚釣り、砂浜での活動など）
- ・鳥取環境大学の海洋調査チームの学生や海と大地の自然館の学芸員に専門的見地からのアドバイスを  
していただく。
- ・学習発表会で、岩美の宝を守るために、環境保全の大切さを全校児童、地域の方々に発表する。
- ・学習を通して知った自然環境の豊かさや、ごみ問題について地域の方に伝える新聞を作成する。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校の所在する鳥取県岩美町大谷地区は、美しい日本海に面しており、山陰海岸ジオパークに認定されている自然豊かな地域である。徒歩で海岸まですぐに学習に出掛けられるほど海の近くに住んでいる児童たちは、その景観の素晴らしさや、「岩美ブルー」と呼ばれる海中の透明度の高さ、生物の豊富さについて日頃は意識することなく生活している。毎年恒例となっている全校海水浴や遠泳、家族で海に出かけて魚釣りをしたり、特産の松葉ガニを食べたりすることは、児童にとって身近なことであるが（毎年、給食にカニ汁が出たり、6年生には浜茹での若松葉ガニが出たりします）、そうしたことは、日常のごく当たり前のことと捉えており、ありがたさを感じている様子は見られない。そこで、本年度も岩美町の宝である美しい海に焦点を当て、様々な海の生き物とのふれ合いを通して自然環境の豊かさに気付くとともに、SDGsの観点から、近年問題となっている海洋ゴミの問題について考え、身近な海のそばに住む地域の一員として自分たちにできること（環境保全の取り組み）はないかを探求する単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<p><b>【課題を見つけ解決する力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩美町の自然環境について、課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。(知識・技能)</li> <li>・課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えたり、まとめたりすることができる。 (思考・判断・表現)</li> <li>・岩美町の自然環境に興味をもち、探求活動に進んで取り組もうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul> <p><b>【自己を表現する力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩美町に生息する生き物の名前や山陰海岸ジオパークの地形等について情報を収集し、新聞を作成することができる。(知識・技能)</li> <li>・相手や目的に応じて、情報を整理し、新聞等で表現することができる。(思考・判断・表現)</li> <li>・地域との関わりの中で自分にできることを見つけ、発信しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul> <p><b>【人とかかわる力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磯の観察会での学芸員の話聞き、岩美町の自然環境の豊かさに気付くことができる。(知識・技能)</li> <li>・鳥取環境大学の学生や地域の方々との出会いを通して様々な考えを知り、地域に誇りをもつと共に地域とつながろうとすることができる。(思考・判断・表現)</li> <li>・課題解決に向け、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul>
---

1-7. 単元の展開 (全50時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
5	<p>○岩美の宝とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考える岩美の宝を発表する。</li> <li>・お話を聞いて心に残った岩美の宝について意見を交流する。</li> <li>・自分たちで調べたい岩美の宝を話し合う。</li> <li>・決まったテーマ(海)について、更に知りたいことを話し合い、学習計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任による指導</li> </ul> <p>※岩美町の自然環境について、課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。 <b>【課題を見つけ解決する力】</b>(知識・技能)</p>
10	<p>○海の生き物について調べ、発表をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン、タブレットで調べる。</li> </ul> <p>・磯の観察会を行い、水中カメラで大谷海岸の生き物調べを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことをグループスライドにまとめてグループ交流をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と情報教育主任による指導</li> <li>・海と大地の自然館 学芸員との連携</li> </ul> <p>※磯の観察会での学芸員の話聞き、岩美町の自然環境の豊かさに気付くことができる。 <b>【人とかかわる力】</b>(知識・技能)</p> <p>※岩美町に生息する生き物の名前や山陰海岸ジオパークの地形等について情報を収集し、スライドを作成することができる。 <b>【自己を表現する力】</b>(知識・技能)</p>
10	<p>○岩美の海の美しさと海の環境問題について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大谷海岸の清掃活動を行う。</li> <li>・鳥取環境大学の海洋プラスチックゴミ研究について知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃学習と大学生からのアドバイスを通して考えたことをグループスライドにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と情報教育主任による指導</li> <li>・海と大地の自然館 学芸員との連携</li> <li>・鳥取環境大学との連携</li> </ul> <p>※鳥取環境大学環境学科の学生の話聞き、海の環境問題に気付くことができる。 <b>【人とかかわる力】</b>(知識・技能)</p> <p>※岩美町の自然環境に興味をもち、探求活動に進んで取り組もうとする。<b>【課題を見つけ解決する力】</b> (主体的に学習に取り組む態度)</p>

5	<p>○大谷海岸清掃をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大谷海岸清掃とごみの分別を行う。</li> <li>・海岸清掃をして気付いたことや考えたことを話し合う。</li> <li>・海の自然環境（ごみ）に焦点を当てた学習計画を話し合う。 ⇒学習発表会での提案へつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任による指導</li> </ul> <p>※課題解決に向け、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。 【人とかかわる力】（主体的に学習に取り組む態度）</p>
1 7	<p>○学習したことを地域の方に発信しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを振り返り、キーノートにまとめる。</li> <li>・潮風まつり（学習発表会）で全校児童や地域の方に劇で伝えたいことを話し合う。</li> <li>・岩美西小学校版「あたりまえ体操」で、自分たちができる海の環境保全についてアピールする。</li> <li>・劇だけでなく、動画で全校児童にも「あたりまえ体操」を見てもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と情報教育主任による指導</li> </ul> <p>※地域との関わりの中で自分にできることを見つけ、発信しようとする。【自己を表現する力】 （主体的に学習に取り組む態度）</p> <p>※課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えたり、まとめたりすることができる。 【自己を表現する力】（思考・判断・表現）</p> <p>※地域の方々などとの出会いを通して多様な考えを知り、地域に誇りをもつと共に地域とつながろうとすることができる。 【人とかかわる力】（思考・判断・表現）</p>
2	<p>○学習のまとめをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の学習を振り返り、初めて知ったことや考えたこと、できるようになったことについて話合う。</li> <li>・学習の成果をまとめたSDGs新聞（リーフレット）にまとめて、保護者、地域へ発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任による指導</li> </ul> <p>※地域の方々との出会いを通して多様な考えを知り、地域に誇りをもつと共に地域とつながろうとすることができる。 【人とかかわる力】（思考・判断・表現）</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

大谷海岸の磯の観察会を通して海の生き物について調べ、海の素晴らしさ、海の魅力を再発見し、自然環境の豊かさに気付くことができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 前時までの学習を振り返りながら、本時のめあてをつかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全に気をつけて観察をしよう。</li> <li>ライフジャケットはちゃんと着用しているね。</li> </ul>	<p>1. これまでの学習を振り返ったあと、安全確認を行い、学習のめあてをつかませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフジャケットを正しく着用しているか、ベルトの締め方は適切か、指導者が確認し、安全に活動に行うことができるようにする。</li> </ul>
<p>大谷海岸の磯の観察会を行い、岩美の海の美しさを知ろう</p>	
<p>2. 生き物を捕まえて観察しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>箱メガネを使うと、海中の様子がよく見えるね。</li> <li>たくさんの魚や生き物があるなあ。写真に撮って記録しておこう。</li> <li>魚はすばやくてつかまえるのが難しいね。</li> <li>岩がごつごつしているから気をつけよう。</li> <li>藻が生えている岩は滑るからあぶないよ。</li> </ul> <p>3. 学芸員の方から学ぼう。</p> <p>「海と大地の自然館」の太田学芸員さんから、磯の観察で見つけた生き物について教えてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットで調べたものもいるね。</li> <li>ヤドカリ、ウミウシ、ミズダコ、ギンポなど、大谷海岸にはいろいろな生物が生息しているね。</li> </ul> <p>4. 本時の学習のふりかえりを行う（まとめ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>潜ってみると、岩美の海は透き通っていてきれいだったね。</li> <li>各グループが水中カメラで撮影した写真や調べたことをまとめたいね。</li> </ul>	<p>2. 観察の際には、安全を最優先に考え、様々な角度から児童を見守る。また、熱中症対策のため、日除けテントを設営し、水分補給のための休憩時間を設けるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防水カメラを使って海中の様子や生き物の写真を撮ったり、児童の活動の様子を記録したりする。</li> </ul> <p>3. 「海と大地の自然館」の太田さんに生き物の特徴や生き物の住み家について説明してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生き物の名前や特徴の説明をしていただくだけではなく、岩美の海の生き物の多様性について話していただき、海の美しさとともに豊かさにも気付くことができるようにする。</li> </ul> <p>4. 次時の学習についての予告も行う。</p> <p>本時の観察会でわかったことをグループスライドにまとめることを伝える。</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・磯の観察会や大谷海岸清掃等の体験活動を通して、児童が岩美の自然環境に興味をもち、進んで環境を守るためにできることはないかと考え、学習することができた。(写真①)
- ・鳥取環境大学との学生のプレゼンテーション・アドバイスを聞くことで、海洋プラスチックごみの現状について知り、課題意識をもって清掃活動や環境保護の訴えをすることにつながった。(写真②)
- ・磯の観察の学習場面では、海と大地の自然館の協力により、具体的な海の姿や生き物の名前や特徴を知ることができた。(写真③)
- ・本年度より、各児童一人一台のタブレット端末 (iPad) が頒布されたことにより、ICTを活用して活動の様子を記録したり、水中カメラで撮影した画像や動画を編集したりして、グーグルスライドやキーノートにまとめて共有することができた。(写真④)
- ・潮風まつり (学習発表会) で「あたりまえ体操」を発表することで、全校児童、保護者、地域の方々など相手意識をもって海の環境問題について発信することができた。(写真⑤)
- ・他学年の海洋教育とコラボして、岩美西小学校SDGs新聞を発行することで、保護者や地域の方々に海洋教育で学習したことを伝えることができた。(写真⑥)



写真①大谷海岸清掃活動の様子



写真②鳥取環境大学のプレゼンの様子



写真③磯の観察の様子



写真④砂浜の記録の様子



写真⑤潮風まつり (学習発表会) の様子



写真⑥ SDGs新聞

### 4. 今後の課題

- ・昨年度の課題反省に基づき、児童の満足感や達成感を保持し、指導者が学習の範囲内で可能な内容に厳選し、持続可能な学習活動となるように努めた。本年度は、新たに鳥取環境大学と連携して学習を進めることができたことは大きな収穫であり、来年度も継続して連携を図っていくことが大切であると考えている。コロナ禍において、なかなか学校外施設へ見学などがし辛いことは課題であるが、外部人材活用を積極的に行うなど、課題克服のために思案していきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・児童の写真があるため、無断で転用することのないようにお願いします。